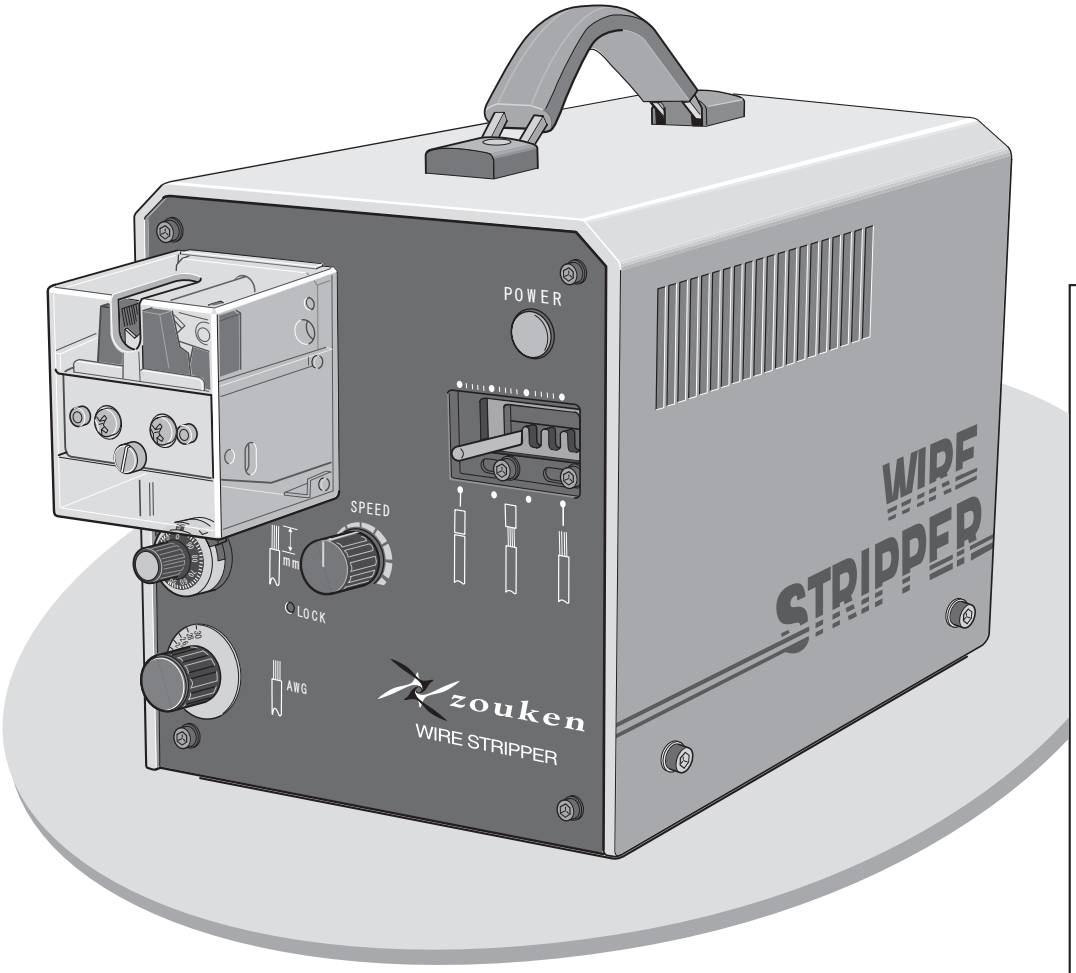
ワイヤーストリッパ

取扱説明書

ITS-10HS



もくじ

安全にお使いいただくために…… 3
準　備 …… 4
製品の確認 …… 4
各部の名称 …… 5
設置 …… 6
電源との接続…… 6
運　転 …… 8
設　定 …… 10
ケーブル径の設定 …… 10
ストリップ長の設定 …… 11
ストリップモードの設定 …… 12
ケーブルガイドの設定 …… 14
ストリップ時間の設定…… 14
こんなときは …… 15
ワイヤーストリッパの点検 …… 15
保守用品の購入 …… 15
保証とアフターサービス …… 15
正常に動作しないときは …… 16
仕様・外形図 …… 17
付　録 …… 18
保守用品の交換 …… 18
オプション …… 20

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書には、製品の取り扱いかたや安全上の注意事項を示しています。
●取扱説明書をよくお読みになり、製品を安全にお使いください。
●お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この製品は、日本国内専用です。
海外での保守・修理には対応しておりませんのでご了承ください。

© Copyright　ZOUKEN CO., LTD. 2005

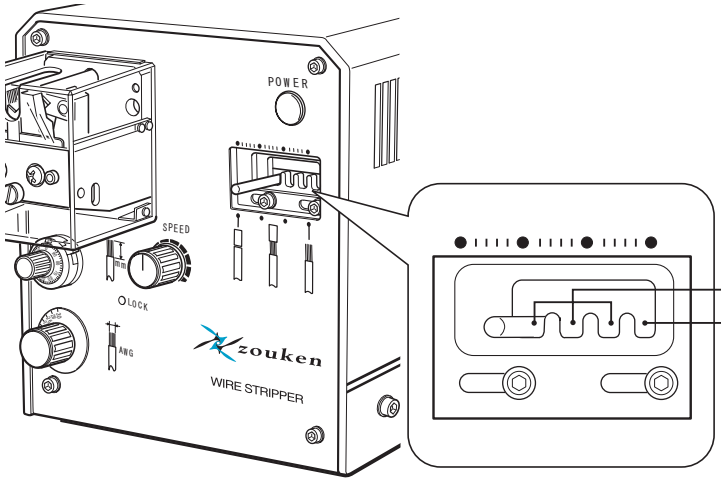
zouken

はじめに

ワイヤーストリッパ ITS-10HS は、電線の先端をタッチセンサに軽く押しあてるだけで、
被覆が離剥できるストリップ加工装置です。
AWG14～30(2～0.05 ㎜^{2}) までの電線サイズをストリップすることができます。

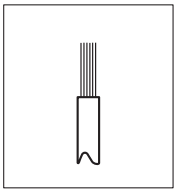
4つのストリップモード

加工用途に応じたストリップモードがセミストリップ(大・中・小)、フルストリップから
選択できます。



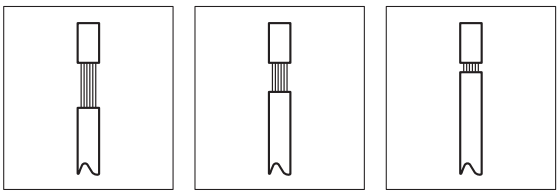
フルストリップ

設定した長さの被覆を完全にストリップします。



セミストリップ

設定した長さの被覆を途中までストリップします。
剥離する長さは大、中、小の３種類が選択できます。



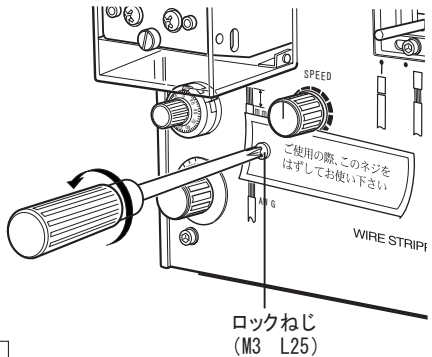
大　中　小

加工時間の設定が可能

ストリップ加工に応じたスピード設定が行なえます。
(設定範囲 : 0.5～1.2秒)

ロックねじについて

輸送中にストリップ刃が動かないよう、出荷時はストリップ刃部をロックねじで固定
しています(スライドロック)。ストリップ刃を固定せずに輸送すると故障の原因と
なりますので、輸送の際は必ずロックねじでストリップ刃を固定してください。
また、ロックねじをはずさないとワイヤーストリッパは動作しません。使用するとき
はロックねじを⊕ドライバではずしてください。はずしたロックねじは、再輸送に備
えてなくさないよう保管してください。



この製品は、電線のストリップ加工を目的として設計・製造されています。その他の用途には使用しないでください。この警告を無視した結果生じた損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

製品の取り扱いは、適切な資格を有する人が行なってください。
お使いになる前に、「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や損傷を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してからお使いください。

警告表示の意味

取扱説明書には、人に対する危害や財産の損害を未然に防止するために、危険をともなう操作、お取り扱いについて、次の表示で警告しています。

⚠警 告

この警告事項に反した取り扱いをすると、死亡または重傷を負う場合がある内容を示しています。

⚠注 意

この注意事項に反した取り扱いをすると、損害を負うまたは物的損害が発生する場合がある内容を示しています。

お願い

製品を正しくお使いいただくために、お客様に必ず守っていただきたい事項を本文中の関連する取り扱い項目に記載しています。

全般的な注意事項

⚠警 告

- 爆発性雰囲気中、引火性雰囲気中では使用しない
  火災・けがの原因となります。
- 設置、接続、点検、故障の診断は適切な資格を有する人が行なう
  火災や感電の原因となります。
- 交流100V　50/60Hz、 定格電流1A以上 のコンセントを単独で使用する
  異なる電源電圧を使用したり、他の機器と併用した分岐コンセントを使用すると火災の原因となります。

⚠注 意

- 設定するときは、必ず電源を切ってから行なう
  けがの原因となります。
- 操作中に異常が生じたときは、すぐに電源を切る
  火災、感電、けがの原因となります。
- 分解・改造はしない
  火災や感電、故障の原因となります。
  取扱説明書で指示した項目以外の内部の点検や保守はお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- 廃棄するときは、産業廃棄物として処理する
  ワイヤーストリッパを廃棄するときは、産業廃棄物として処理してください。

移動・設置時の注意事項

⚠警 告

- 電源を入れたまま、移動したり設置しない
  火災や感電の原因となります。
- 電源コードはむりに折り曲げたり、引っ張ったり、はさみこんだりしない
  火災・感電の原因となります。
- 電源プラグのアース線を接地する
  感電の原因となります。
- 交換用ヒューズは指定のものを使う
  火災や感電、故障の原因となります。
- ストリップ刃などの保守部品を交換するとき以外は、カバーをはずさない
  けがの原因となります。
- 電線差し込み口には、指を入れない
  けがの原因となります。

⚠注 意

- 移動するときは、ロックねじでストリップ刃を固定する
  ストリップ刃がスライドして故障する原因となります。
- 安定した水平な台の上に置く
  ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落下してけがの原因となります。

操作時の注意事項

⚠警 告

- 電線投入口に髪の毛、ネクタイ、ブレスレット、着衣の袖などを垂らさない
  引き込まれてけがの原因となります。

点検・保守時・故障の診断時の注意事項

⚠警 告

- 点検、診断の作業に入る前に、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く
  感電の原因となります。

⚠注 意

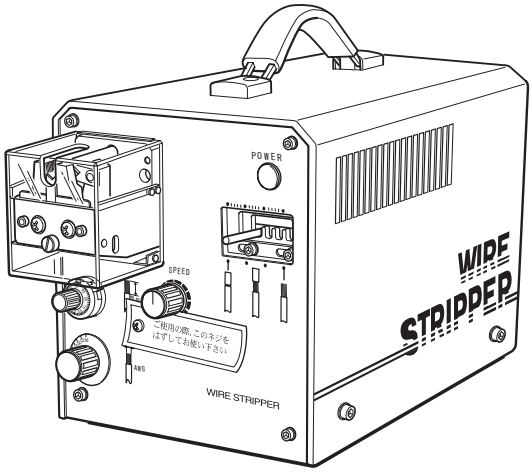
- 素手でストリップ刃に触れない
  けがの原因になります。

準　備

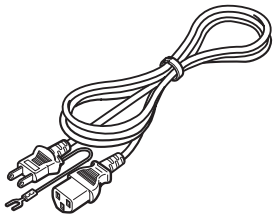
製品の確認

パッケージを開けたら、次のものがすべて揃っているか、確認してください。
もし、不足している場合や破損している場合には、お買い求めの販売店までご連絡ください。

●ワイヤーストリッパ　ITS-10HS　　1台



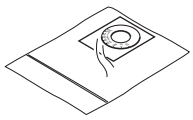
●電源コード　1本



●付属工具　3本

対辺1.5mm（止めねじ用）：
　ケーブル径設定ツマミ（M3.5）、カストリばね（M3）
対辺2.0mm（六角穴付きボルトM2.6用）：
　クランパ
対辺2.5mm（六角穴付きボルトM3用）：
　フロントパネル、ストリップモード設定板、ストリップ刃

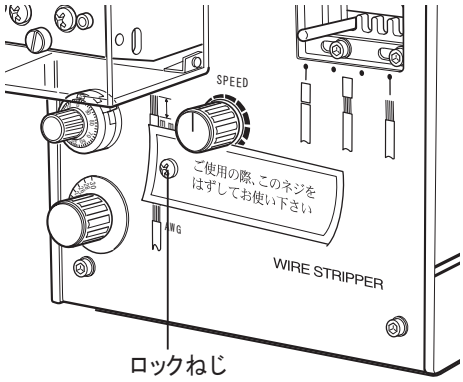
●線径表示シール　1枚



●取扱説明書　1冊

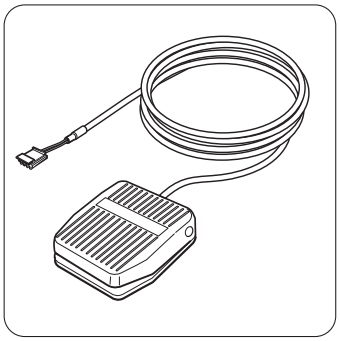
お願い

出荷時には、輸送中にストリップ刃が動かないようロックねじで固定しています。
ワイヤーストリッパを使用するときは、ロックねじを必ずはずしてください。
詳しくは2ページをご覧ください。



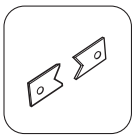
オプション（別売り）

■ フットスイッチ　品名：FS10H

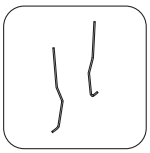


■ 保守用品（別売り）

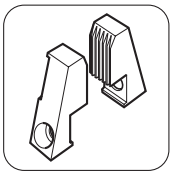
●ストリップ刃
品名：B10H（2枚1組）
品名：B10HC（コーティング刃2枚1組）



●カストリばね
品名：KB10H（2本1組）

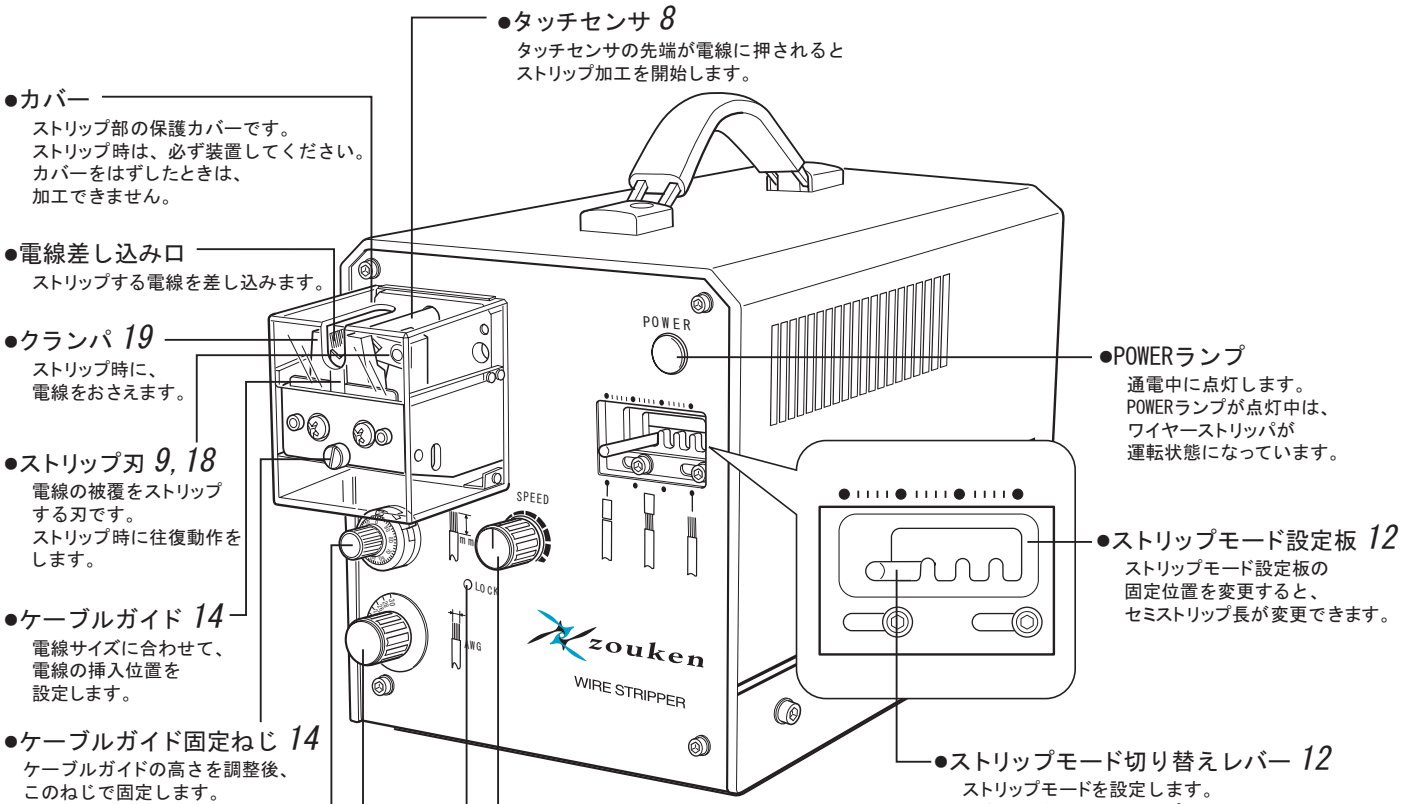


●クランパ
品名：C10H（2枚1組）



●ヒューズ
品名：F7142（3A サトーパーツ）

数字は、本文で説明しているおもなページです。



●タッチセンサ *8*
タッチセンサの先端が電線に押されると
ストリップ加工を開始します。

●カバー
ストリップ部の保護カバーです。
ストリップ時は、必ず装置してください。
カバーをはずしたときは、
加工できません。

●電線差し込み口
ストリップする電線を差し込みます。

●クランパ *19*
ストリップ時に、
電線をおさえます。

●ストリップ刃 *9, 18*
電線の被覆をストリップ
する刃です。
ストリップ時に往復動作を
します。

●ケーブルガイド *14*
電線サイズに合わせて、
電線の挿入位置を
設定します。

●ケーブルガイド固定ねじ *14*
ケーブルガイドの高さを調整後、
このねじで固定します。

●ストリップ長設定ツマミ *11*
ストリップする被覆の長さを設定します。
設定範囲：1.5～15mm

●ケーブル径設定ツマミ *7, 10*
電線サイズ(AWG No.)に合わせて
ケーブル径を設定します。
設定範囲：AWG14～30(2～0.05mm^2)

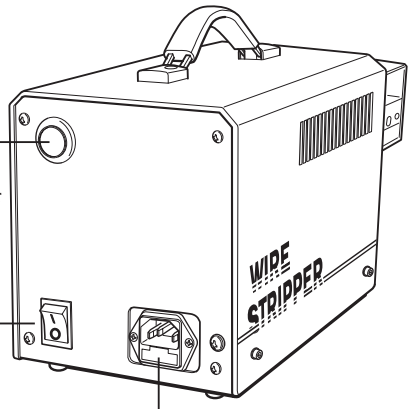
●ロックねじ *2*
輸送中にストリップ刃が動かないよう
固定するねじです。
ワイヤーストリッパを使用するときは
ロックねじをはずしてください。

●ストリップ時間設定ツマミ *14*
ストリップ時間(ストリップ刃の往復時間)
を設定します。
設定範囲：0.5～1.2秒

●POWERランプ
通電中に点灯します。
POWERランプが点灯中は、
ワイヤーストリッパが
運転状態になっています。

●ストリップモード設定板 *12*
ストリップモード設定板の
固定位置を変更すると、
セミストリップ長が変更できます。

●ストリップモード切り替えレバー *12*
ストリップモードを設定します。
設定モード：フルストリップ
大セミストリップ
中セミストリップ
小セミストリップ



●膜付きグロメット *20*
通常は使用しません。
オプション(別売り)のフットスイッチを
使うときに使用します。

●電源スイッチ *8*
「I」側に倒すと電源が入ります。
電源を切るときは、「O」側に倒します。

●インレット *6*
電源コードのコネクタを差し込みます。
ヒューズ2本が入っています。

設　置

1. 設置場所

この製品は、屋内での使用を条件に設定・製造されたものです。
風通しがよく、点検が容易な次のような場所に設置してください。

◆屋内
◆使用周囲温度　0℃～＋40℃
◆使用周囲湿度　85%以下（結露しないところ）
◆爆発性雰囲気や有害な雰囲気のないところ
◆直射日光があたらないところ
◆水、油その他の液体がかからないところ
◆連続的な振動や過度の衝撃が加わらないところ

2. 設置台

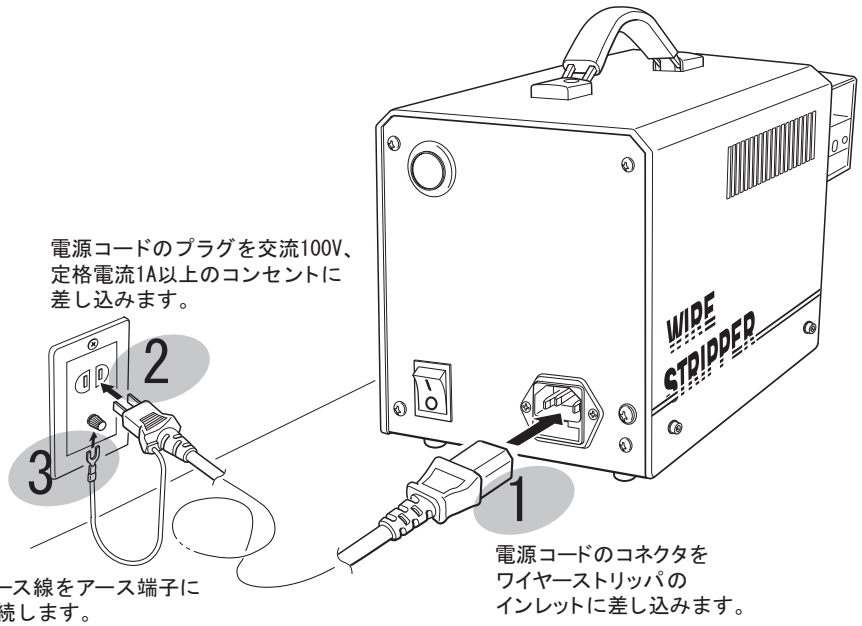
ワイヤーストリッパは、安定した水平な台の上に設置してください。

電源との接続

⚠警 告

●電源を入れたまま、移動したり設置しない。
　火災や感電の原因となります。

POWERランプが点灯しているときは、ワイヤーストリッパが運転状態です。
電線差し込み口に指や物を入れないでください。けがの恐れがあります。
作業を始める前の設定は電源を切って行なってください。

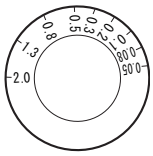


お願い

電源スイッチが「0」側に倒れていることを確認してから行なってください。

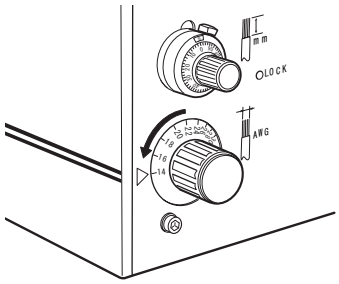
線径表示シールの貼付方法

AWG表示シールを 線径表示シール（付属）に貼り替えるときは、
つぎの手順で行なってください。



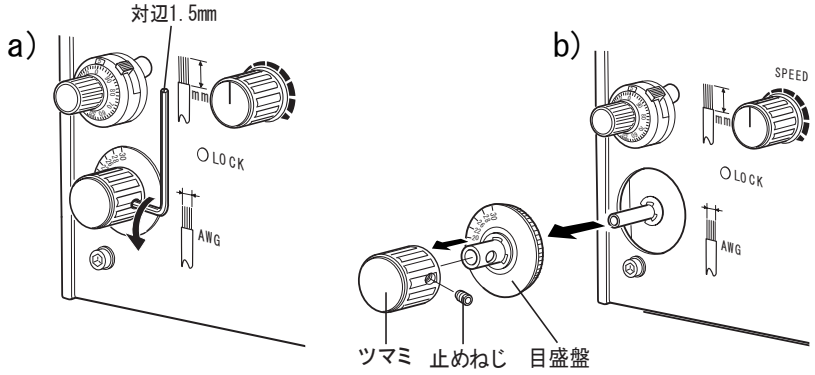
線径表示シール

1 ケーブル径設定ツマミの目盛りを「14」に合わせる



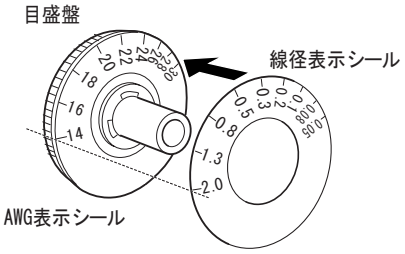
2 目盛盤をはずす

a)ケーブル径設定ツマミの止めねじを付属工具（対辺1.5㎜）で ゆるめます。
b)目盛盤をシャフトとツマミから取りはずします。



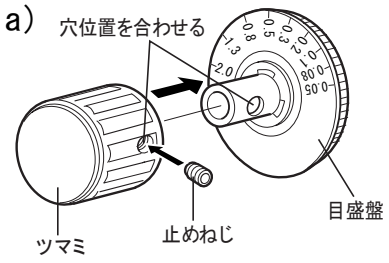
3 線径表示シールをAWG表示シールの上から貼付する

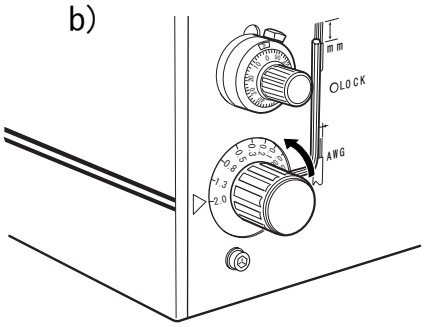
線径表示シールの目盛「2.0」を
AWG表示シールの目盛「14」に合わせます。



4 目盛盤を取り付ける

a)目盛盤とツマミのねじ穴を合わせて止めねじを締めます。
b)目盛りを「2.0」に合わせて、止めねじでシャフトに固定します。





ポイント

止めねじはツマミと目盛盤およびシャフトの3点を固定しています。

お願い

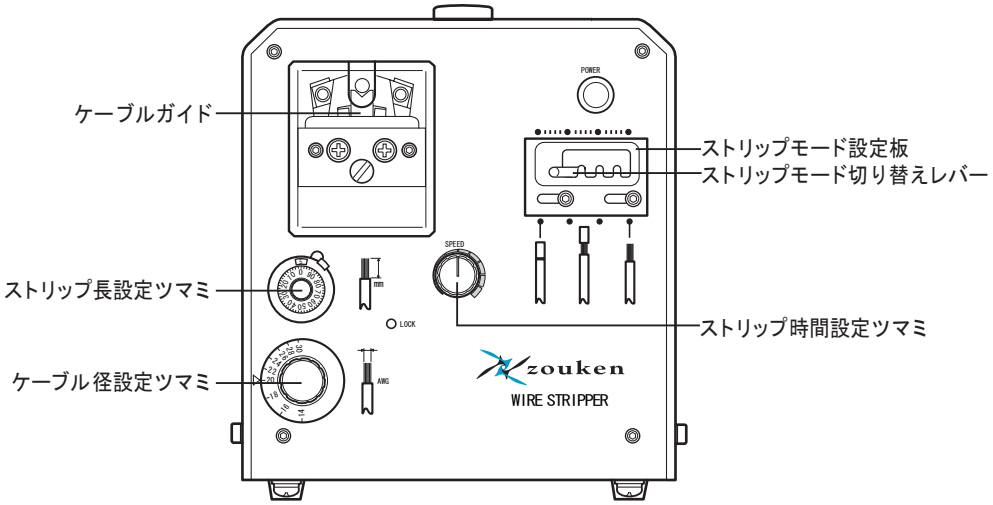
目盛盤を脱着するときは、シャフトを動かさないでください。

運　転

はじめてお使いになるときは、つぎの順番で操作してください。

1 ケーブル径、ストリップ長、ストリップモード、ケーブルガイド、ストリップ時間の設定

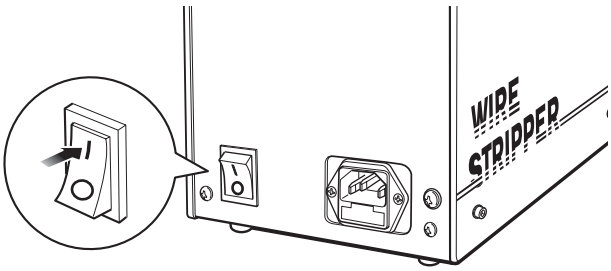
電線の大きさに合わせてケーブル径、ケーブルガイドを設定し、ストリップ長、ストリップモード、ストリップ時間を設定します。設定方法は、10～14ページをご覧ください。



2 電源の投入

電源スイッチを「I」側に倒します。

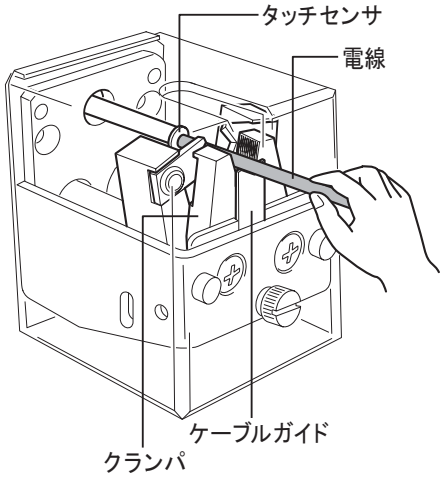
- POWERランプが点灯します。
- ワイヤーストリッパは運転状態になります。



3 電線をタッチセンサにあてる

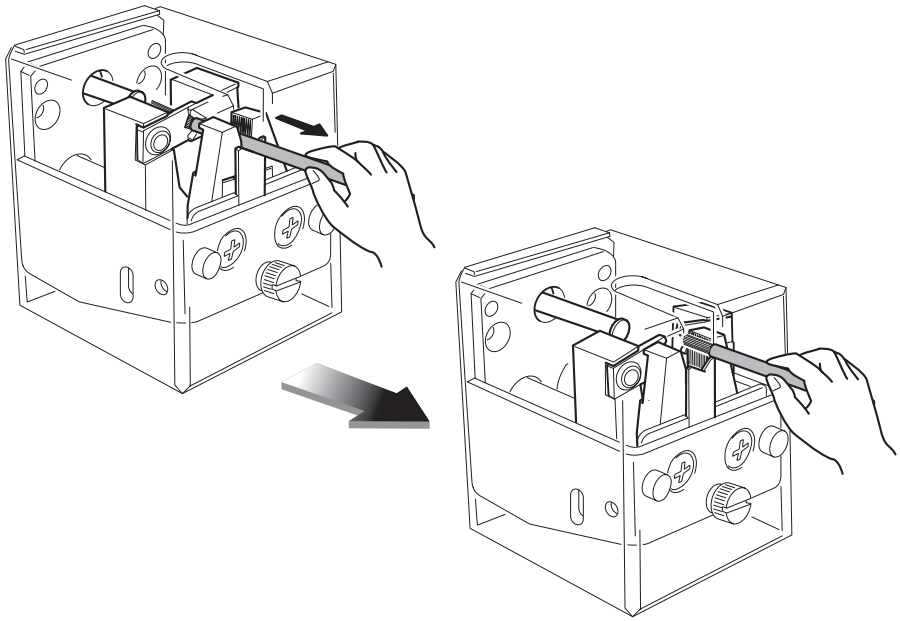
電線差し込み口よりケーブルガイド、クランパ間を通して電線を挿入し、タッチセンサの先に軽く押しあてます。

タッチセンサが押されるとストリップを開始します。

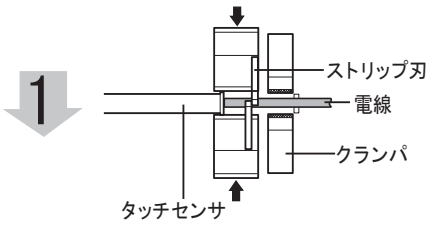


4 電線を引き戻す

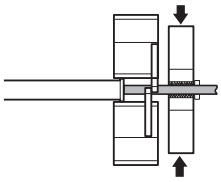
ストリップ終了後は、電線を引き戻します。
電線の引き戻しが遅れると、タッチセンサが電線にあたり、ストリップされた芯線が曲がる原因になります。



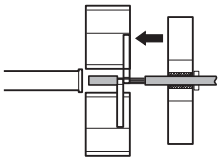
ストリップ刃の動作



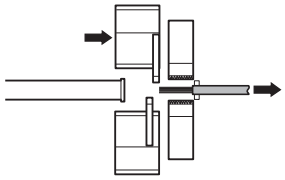
1 タッチセンサの先端が電線に押されると、ストリップ刃が閉じます。



2 ストリップ刃が電線に切り込むと同時にクランパが閉じて電線を押さえます。



3 ストリップ刃が後方に移動し、被覆をストリップします。



4 ストリップ刃とクランパが開き、ストリップ刃とタッチセンサが元の位置に戻ります。

剥きカスの処理について

電線の剥きカスはカバー内にたまります。
剥きカスが1cm程度たまりましたら、カバーをはずして捨ててください。

ポイント

ストリップ時間の設定が速いほど、ストリップ刃の戻りが速くなります。
最初は、ストリップ時間の設定を遅めにして、慣れてきたら徐々に速くしてください。

設　定

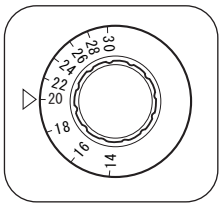
ストリップする前にケーブル径、ストリップ長、ストリップモード、ケーブルガイド、ストリップ時間を設定します。

⚠注 意

●設定するときは、必ず電源を切ってから行なう。
けがの原因となります。

ケーブル径の設定

ストリップする電線サイズをケーブル径設定ツマミで設定します。
目盛りをフロントパネルの▷印に合わせます。
設定範囲はAWG 14～30(2～0.05㎟)です。



出荷時設定：AWG20

ケーブル径の設定は、電線被覆の材質・厚さなどにより、微調整が必要になることがあります。
最適なケーブル径の設定を行なうためには、ストリップ加工を5～6回程度行ない問題がないことを確認してください。また、ストリップ加工を繰り返し行なっているうちに、ケーブル径設定ツマミの設定値がズレることがあります。設定値がズレたときは、下記の「ケーブル径設定ツマミの再調整方法」をご覧ください。

お願い

AWG14～30(2～0.05㎟)サイズの電線を使用しても、被覆が硬くて薄い電線や表面が滑りやすい電線（例：テフロン線など)は、適切にストリップできないことがあります。
当社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

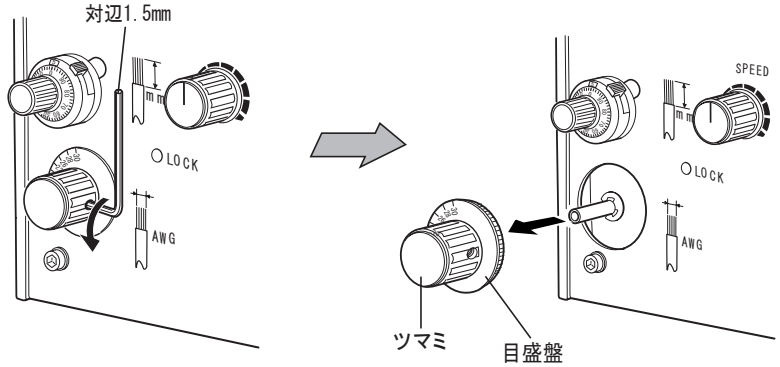
ケーブル径設定ツマミの再調整方法

ケーブル径設定ツマミの設定値がズレたときは、次の方法で再調整してください。

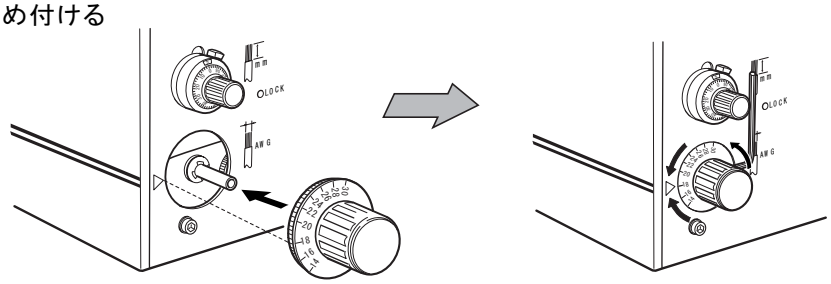
例）「AWG18」 に設定した目盛りが「AWG20 」 にズレたとき

1 「AWG18」 の電線 をストリップ(フルストリップ)する
サイズのわかっている電線が確実にストリップできることを確認してください。

2 ケーブル径設定ツマミの止めねじを付属工具(対辺1.5㎜)で ゆるめて取りはずす



3 ケーブル径設定ツマミの目盛りを「18」に合わせて取り付け、止めねじで締め付ける

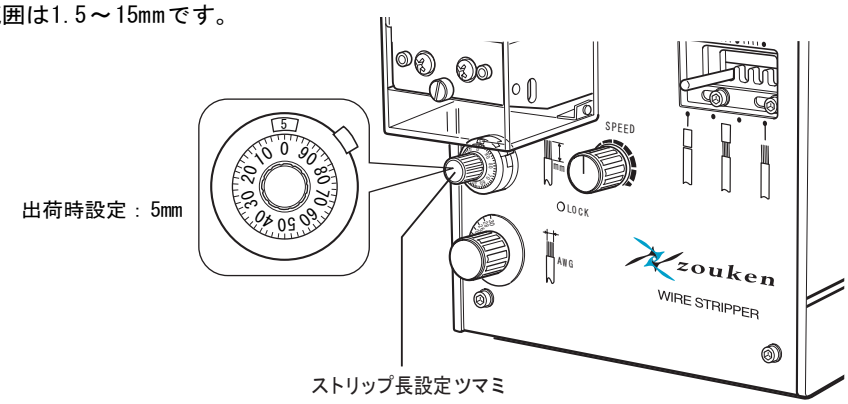


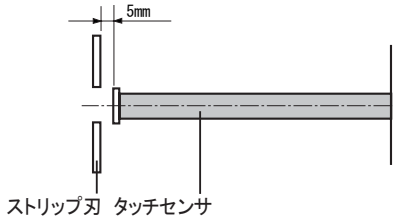
ポイント

止めねじは、ゆるめすぎないでください。
ゆるめすぎるとツマミと目盛盤がはずれます。

ストリップ長の設定

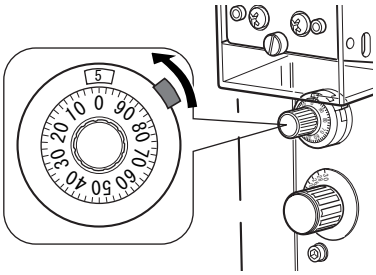
ストリップ長は、タッチセンサの先端位置（電線の先端）からストリップ刃の切り込み位置までの長さです。
設定範囲は1.5～15mmです。



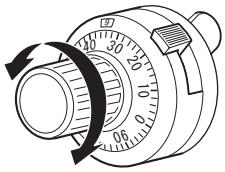


タッチセンサの先端からストリップ刃の切り込み位置までの長さ

1 ロックレバーを左にスライドし、ストリップ長設定ツマミの固定を解除する



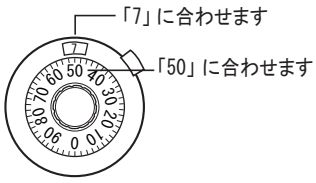
2 ストリップ長設定ツマミをまわして、ストリップする長さを設定する



3 ストリップ長の設定後は、ロックレバーを右にスライドし、ストリップ長設定ツマミを固定する

ポイント

ストリップ長の設定例
「7.50mm」に設定するとき



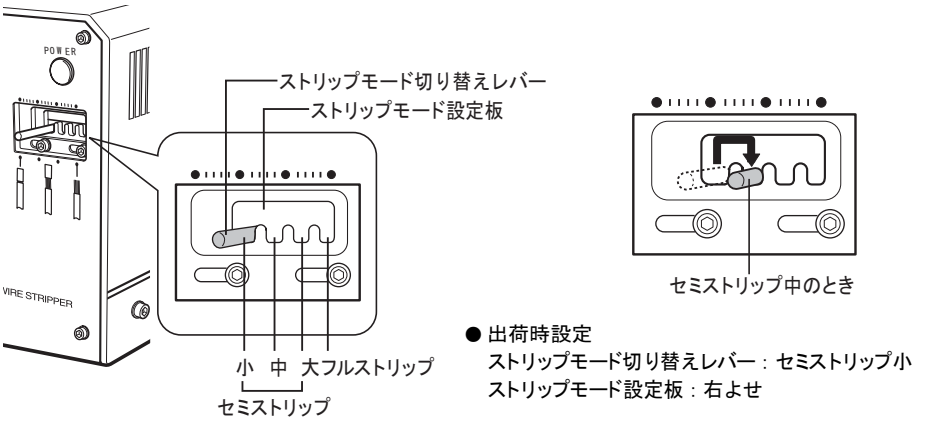
中の目盛が一回転すると、口の数値が「1」変化します。

お願い

ストリップ長設定ツマミは、ロックレバーを固定したまま回転させないでください。故障の原因となります。

ストリップモードの設定

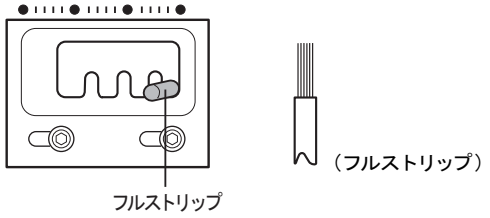
ストリップモードをストリップモード切り替えレバーで設定します。
ストリップモード切り替えレバーは、出荷時にセミストリップ小（セミストリップ3.5㎜）に設定しています。ストリップモードを切り替えるときは、ストリップモード切り替えレバーを持ち上げてスライドさせ、加工するストリップモードの溝に入れます。



● 出荷時設定
ストリップモード切り替えレバー：セミストリップ小
ストリップモード設定板：右よせ

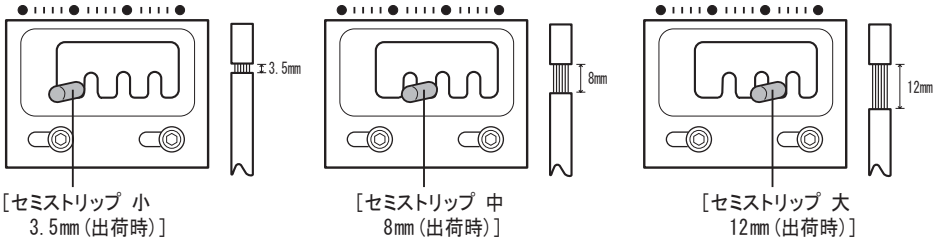
フルストリップのとき

ストリップモード切り替えレバーをフルストリップの溝に設定します。
ストリップ長設定ツマミで設定した長さの被覆を完全にストリップします。



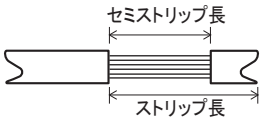
セミストリップのとき

ストリップモード切り替えレバーをセミストリップ（大・中・小）の溝に設定します。
ストリップ長で設定した長さの被覆を、途中までストリップします。



お願い

セミストリップするときは、ストリップ長を必ずセミストリップ長より長く設定してください。



セミストリップ長の変更

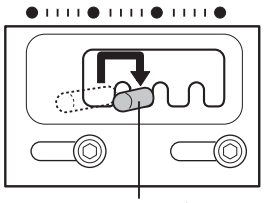
ストリップモード設定板の固定位置を調整すると、セミストリップ長の設定が変更できます。

セミストリップ長の設定範囲

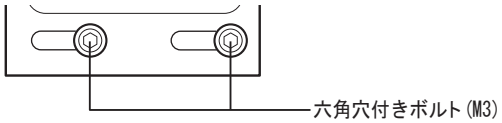
セミストリップ小：0～3.5㎜
セミストリップ中：3.5～8㎜
セミストリップ大：8～12㎜

例）セミストリップ中を7㎜に変更する

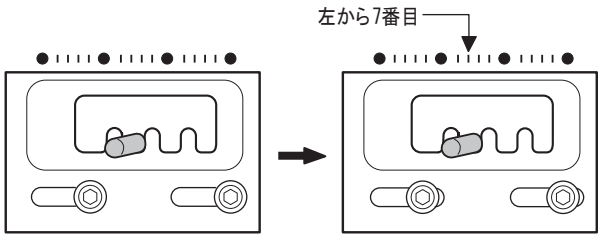
1 ストリップモード切り替えレバーを「セミストリップ中」の溝に設定する



2 付属工具（対辺2.5㎜）でストリップモード設定板を固定している六角穴付きボルト（2本）をゆるめる



3 ストリップモード設定板を左にずらし、ストリップモード切り替えレバーの中心を左から7番目の目盛りに合わせる



セミストリップ長は、次のように変更されました。

セミストリップ小：2.5㎜
セミストリップ中：7㎜
セミストリップ大：11㎜

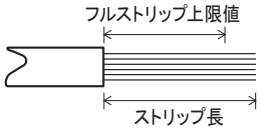
4 ストリップモード設定板を固定する

ポイント

ストリップモード設定板をずらすときは、ストリップモード切り替えレバーを持って行なってください。

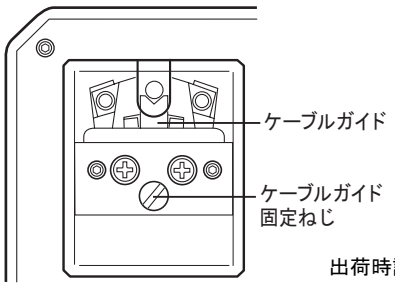
お願い

ストリップモード設定板の位置を変更すると、フルストリップ長の上限が制限されます。
フルストリップの上限範囲：12～15㎜
［フルストリップ上限値］＜［ストリップ長］のときは「セミストリップ」になります。



ケーブルガイドの設定

電線サイズに合わせてケーブルガイドの位置を設定します。
電線サイズが変わったときは、必ず再設定してください。

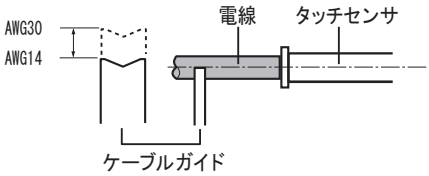


出荷時設定：長穴の中央

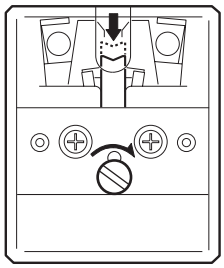
お願い
ケーブルガイド固定ねじは、ゆるめすぎないでください。

1 ケーブルガイド固定ねじを反時計方向にゆるめる

2 電線を差し込み、電線の先端がタッチセンサの中心にあたる高さにケーブルガイドを合わせる
- ケーブルガイド固定ねじを持ってケーブルガイドを上下に移動させてください。
- 電線はまっすぐにしてください。

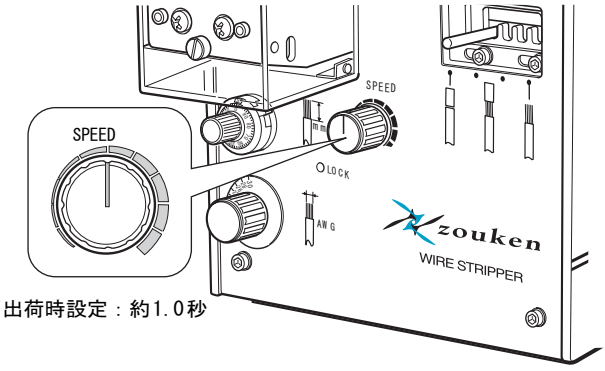


3 電線を抜き、ケーブルガイド固定ねじを締めてケーブルガイドを固定する



ストリップ時間の設定

ストリップ時間設定ツマミで、ストリップ時間（ストリップ刃の往復時間）を設定します。



出荷時設定：約1.0秒

ストリップ時間は、電線がタッチセンサにあたりストリップ刃が閉じてから、ストリップ後にストリップ刃が戻ってくるまでの時間です。
設定時間範囲は0.5～1.2秒です。反時計方向に回すとストリップ時間が遅くなります。

こんなときは

ワイヤーストリッパの点検

定期点検はワイヤーストリッパを安全に、より効率よく稼動させるために重要です。
異常がある場合はすぐに作業を停止し、点検を行なってください。

■日常点検

次の項目について、毎日点検を行なってください。また、ワイヤーストリッパの操作前と操作後に異常がないことを確認してください。

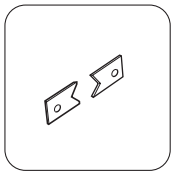
点検項目	点検内容
ストリップ刃部	ストリップ刃、クランパの周囲に電線の剥きカスがついていないか？
剥きカス	カバー内に電線の剥きカスが1cm以上たまっていないか？

●カバーのはずし方
カバーは磁石で吸着固定されています。
カバーを手前に軽く引っ張ってはずします。

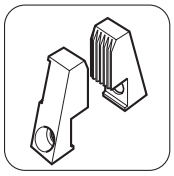
保守用品の購入

次の保守用品をお買い求めになるときは、お近くの販売店までお問い合わせください。
保守用品の交換方法については18～19ページをご覧ください。

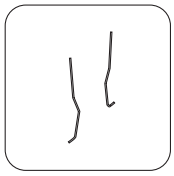
1. ストリップ刃
   品名：B10H（2枚1組）
   B10HC（ コーティング刃2枚1組）



2. クランパ
   品名：C10H（2枚1組）



3. カストリばね
   品名：KB10H（2本1組）



4. ヒューズ
   品名：F7142（3A　サト ーパーツ）

ヒューズが切れたときは、ワイヤーストリッパに異常がないことを確認してから交換してください。

保証とアフターサービス

お買い求めいただいたワイヤーストリッパに万一不都合が生じた場合は、次のように保証いたします。

■保証内容

正常な使用状態で、この製品を構成する純正部品または当社が指定した部品がその素材あるいは構造上の不具合が原因で、何らかの故障が生じた場合、無償で修理または交換いたします。
ただし、この製品の故障、誤動作または不具合より発生した損害、逸失利益など付随的損害の補償や第3者への補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■保証期間

保証期間は、ワイヤーストリッパ納入の日から1年間です。

■保証除外事項

次の場合、保証は除外されます。

1. 経時変化あるいは使用損耗により発生する不具合（塗装・メッキなどの自然退色・剥がれ、保守部品の劣化など）。
2. この製品の品質・機能上影響のない軽微な感覚的症状。
3. 日本国内で購入された本製品を国外へ持ち出された場合。
4. V刃、クランパ、かすとりバネの消耗。（使用方法によって1年以内に交換する必要があります）

■無償修理の対象外

次に示すものに起因すると認められる故障については、無償修理いたしません。有償修理となります。

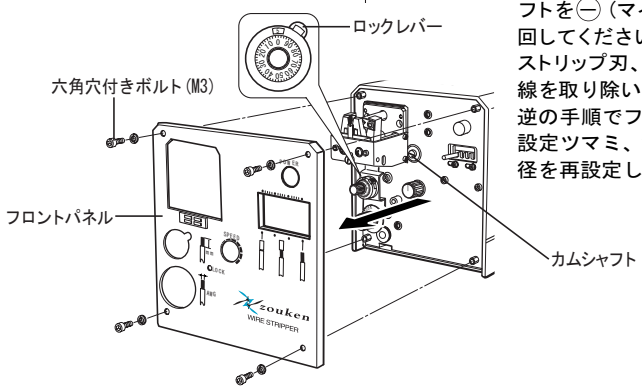
1. 地震、台風、水害、落雷などの天災または事故、火災など。
2. 当社によって認められていない改造など。
3. 純正部品および指定保守部品以外の使用。
4. 保守点検上の不備または間違い。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

ご不明な点や修理に関するご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

正常に動作しないときは

ワイヤーストリッパが正常に動作しないときは、もう一度点検のうえ適切な処置をしてください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
点検する前に、ワイヤーストリッパの電源スイッチを「O」にしてください。

異常内容	予想される原因	処　置　参照ページ
POWERランプが点灯しない	○ 電源スイッチが入っていない	●電源スイッチが「I」側に倒れているか確認してください。
	○ ヒューズが切れている	●切れたヒューズは、ワイヤーストリッパに異常がないことを確認してから新しいものと交換してください。
電源を入れても動作しない	○ カバーがはずれている	●カバーがはずれると動作しない安全機構がついています。電源を切り、カバーを確実に装着後、電源を再投入してください。
ストリップ刃、クランパが原位置で停止していない	○ 加工途中で電源がOFF されたか、カバーがはずれて安全機構が働いた可能性があります	●カバーが確実に装着されていること確認し、電源を再投入してください。 ストリップ刃、クランパが原位置に復帰します。
電線にストリップ刃が食い込んだ状態で停止した	○ ケーブル径の設定が適切でない可能性があります	●ストリップ長設定ツマミのロックレバーを解除して、カバー、フロントパネルをはずし、ストリップ刃右側のカムシャフトを⊖（マイナス）ドライバで時計方向に回してください。 ストリップ刃、クランパが開きますので、電線を取り除いてください。 逆の手順でフロントパネル、ストリップ時間設定ツマミ、カバーを取り付け、ケーブル径を再設定してください。 
ストリップ長がばらつく	○ クランパの取り付いているシャフトに剥きカスがついている可能性があります	●カバーをはずして、剥きカスを除去してください。
ケーブル径設定ツマミの目盛りがズレる	○ ストリップを繰り返し行なっているうちに4～5目盛りズレることがありますが、故障ではありません	●ケーブル径設定ツマミを再調整してください。 （10ページ）
ストリップできない	○ クランパにケーブルの剥きカスがつまってクランプ力が弱くなっている可能性があります	●カバーをはずして、クランパにつまった剥きカスを除去してください。 また、ストリップしづらい材質もあります。クランパの調整などでストリップできる場合もありますので、お買い求めの販売店にお問い合わせください。
	○ ストリップ刃がロックねじで固定されている	●ロックねじをはずしてください。（7ページ）
	○ 電線が軟らかくて、タッチセンサで検出できない	●フットスイッチ（別売り）を使用してください。（20ページ）
ストリップの長さが設定と異なる	○ ストリップ長設定ツマミ（11ページ）の設定とストリップモード（12ページ）の設定状態を確認してください	●セミストリップモード設定値＞ストリップ長設定ツマミの設定値→フルストリップになります。 フルストリップモード上限値＜ストリップ長設定ツマミの設定値→セミストリップになります。 ストリップモード（12ページ）とストリップ長設定ツマミ（11ページ）の設定を見直してください。 ストリップ長の出荷時設定を変更すると、フルストリップモード時の上限値が短くなります。
15㎜のフルストリップができない	○ セミストリップ長の設定を変えるため、ストリップモード設定板を左側に移動した可能性があります	●ストリップモード設定板を右側に移動してください。 （13ページ）

仕　様

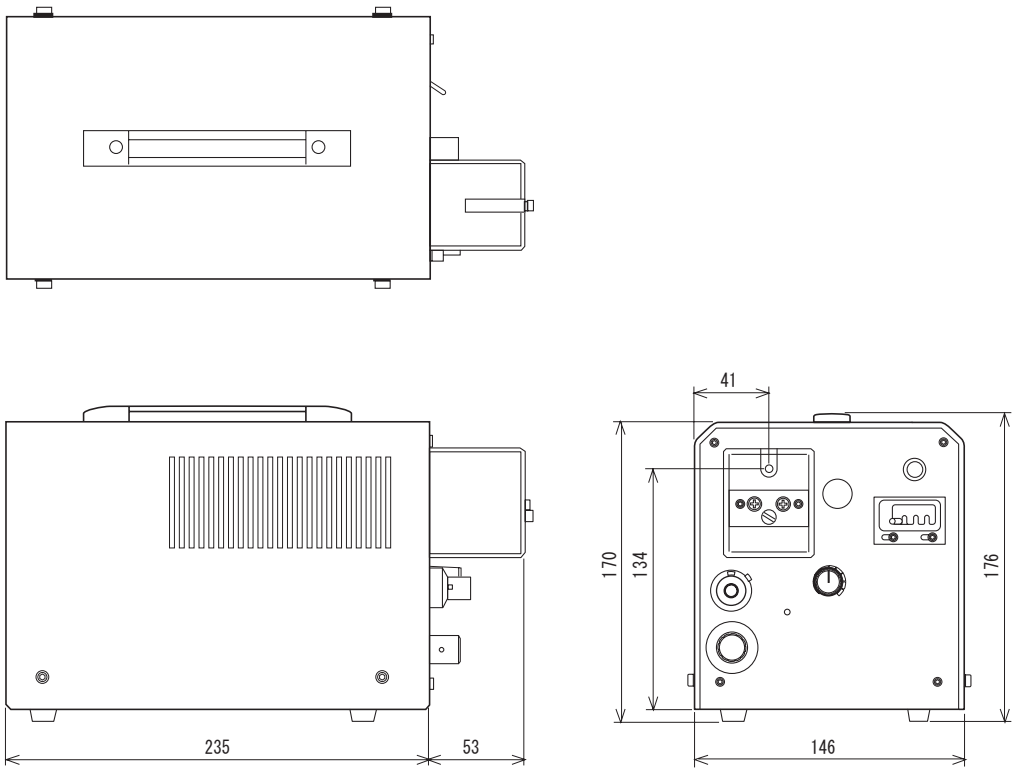
製品の性能、仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

品　　名	ITS-10HS
ストリップ長	1.5㎜～15㎜
ストリップモード	ワンタッチ切り替え（フルストリップ、セミストリップ） セミストリップ調整範囲（0.5㎜～15㎜）
対象ケーブル径　※1	AWG14～30（2～0.05㎟）
切り込み設定値	0.03㎜/クリ ック
加工時間	0.5～1.2秒
ストリップ刃材質	ハイス鋼
電　　源	AC100V　　50/60Hz　1A
外形寸法　※2	146(W)㎜ ×288(D)㎜ ×176(H)㎜
質　　量	6kg

※1 材質によりストリップ加工できないものもあります。
※2 外形寸法には、取っ手、ねじ、ツマミなどの突出部は含みません。

外形図

単位 : ㎜



付　録

保守用品の交換

■ストリップ刃の交換

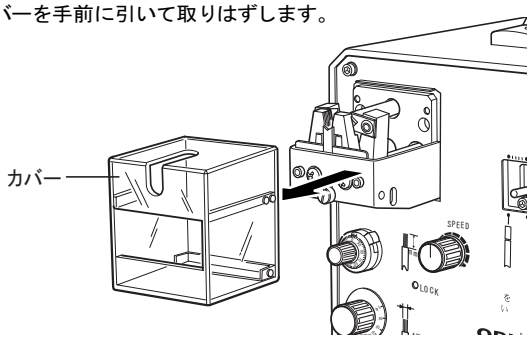
交換するストリップ刃は、必ず当社指定の刃を使用してください。

ストリップ刃品名 : B10H, B10HC(コーティング刃)

電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。

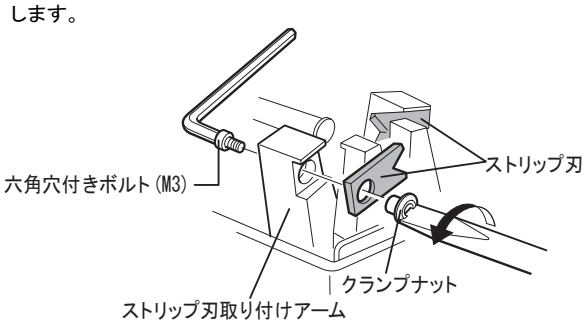
1 カバーをはずす

カバーは磁石で吸着固定されています。
カバーを手前に引いて取りはずします。



2 ストリップ刃をはずす

ストリップ刃は、ストリップ刃取り付けアーム表面のクランプナットとアーム裏面の六角穴付きボルト(M3)で固定しています。
付属工具(対辺2.5㎜)で六角穴付きボルト(M3)を固定し、㊀(マイナス)ドライバでクランプナットをゆるめて、ストリップ刃を取りはずします。



3 新しいストリップ刃を取り付ける

新しいストリップ刃のねじ穴にクランプナットをはめ込みます。
ストリップ刃には表裏があります。
正面から見て、ストリップ刃取り付けアームの右側にはストリップ刃表面、左側には裏面を取り付けます。

＜正面から見た図＞

4 ストリップ刃を固定する

㊀(マイナス)ドライバでクランプナットを固定し、付属工具(対辺2.5㎜)で六角穴付きボルト(M3)を締め付けて、ストリップ刃を固定します。

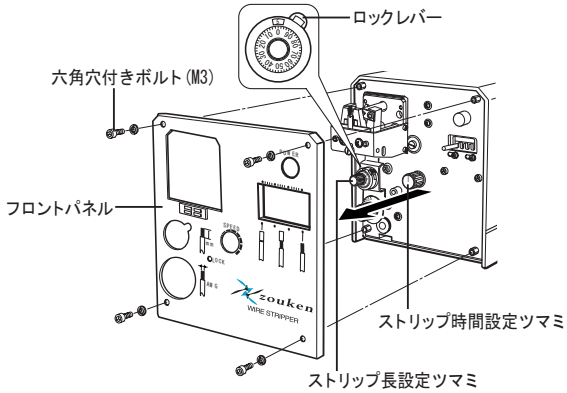
5 カバーを取り付ける

ストリップ刃位置の確認

ストリップ刃が適切に取り付けられたことを確認します。
AWG18程度の太めの電線を用意してください。

1 フロントパネルを取りはずす

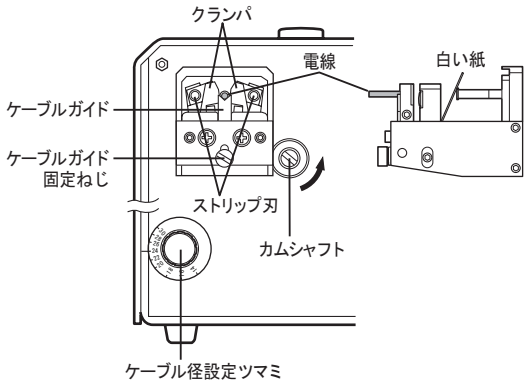
付属工具(対辺2.5㎜)でフロントパネルの六角穴付きボルト(4本)を取りはずします。
フロントパネルを取りはずすときは、カバーを取りはずし、ストリップ長設定ツマミのロックレバーを「解除」にしてください。



2 ストリップ刃の噛み合い形状を確認する

- ケーブルガイドを最下端に設定します。
- カムシャフトを㊀(マイナス)ドライバで反時計方向に回転させ、クランパで電線をはさみます。

ケーブル径設定ツマミをAWG24程度に設定します。
前面より見て左右のストリップ刃が下図のように正方形に噛み合っていることを確認します。
左右のストリップ刃が正常に噛み合っていないときは、ストリップ刃の交換に従って、取付位置を調整してください。



ポイント　ストリップ長の設定を最長(15㎜)に設定し、タッチセンサとストリップ刃取り付けアームの間に白い紙を置くとストリップ刃の噛み合い形状が見やすくなります。

3 フロントパネルを取り付ける

お願い

フロントパネルを取り付けるときは、ケーブル径設定ツマミ、ストリップ長設定ツマミがフロントパネルに触れないよう気をつけてください。

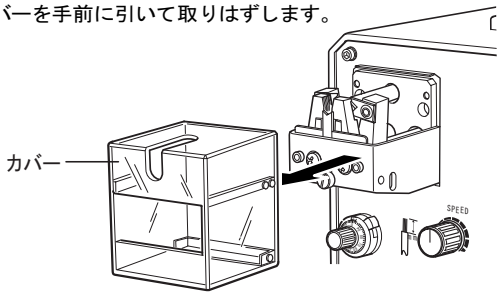
■クランパの交換

交換するクランパは、必ず当社指定のクランパを使用してください。

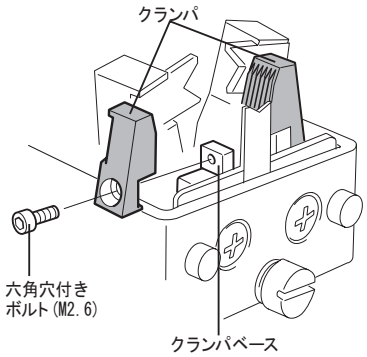
クランパ品名：C10H

電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。

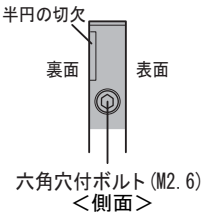
1 カバーをはずす
カバーは磁石で吸着固定されています。
カバーを手前に引いて取りはずします。



2 クランパをはずす
付属工具（対辺2.0㎜）でクランパを固定している六角穴付きボルト（M2.6）をゆるめて、クランパを取りはずします。



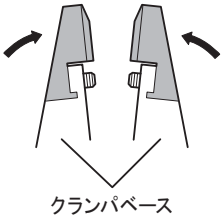
3 新しいクランパを取り付ける
新しいクランパを左右の高さを揃えてクランパベースに取り付け、六角穴付きボルトで固定します。
クランパには表裏があります。
クランパは、半円の切欠がある側が裏面になります。

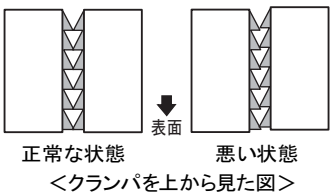


4 カバーを取り付ける

クランパ取付位置の確認

左右のクランパを指で摘み、クランパの山が揃っていることを確認してください。
クランパの左右の山が揃っていないときは、クランパの交換方法に従って、取付位置を調整してください。





■カストリばねの交換

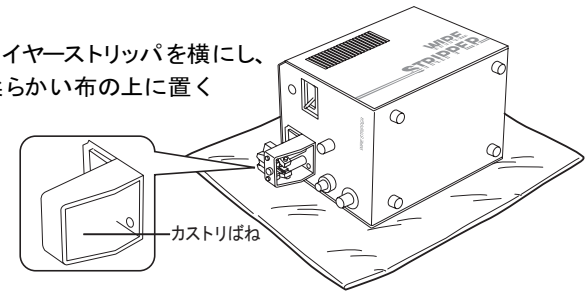
交換するカストリばねは、必ず当社指定のカストリばねを使用してください。

カストリばね品名：KB10H

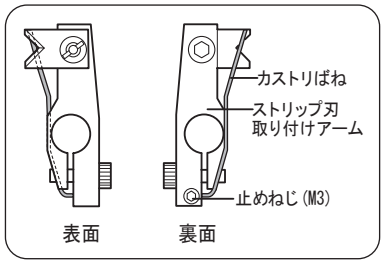
電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。

1 カバーをはずす
カバーは磁石で吸着固定されています。
カバーを手前に引いて取りはずします。

2 ワイヤーストリッパを横にし、柔らかい布の上に置く



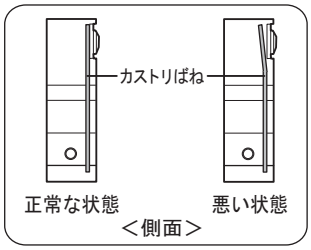
3 カストリばねをはずす
カストリばねは、ストリップ刃取り付けアームの裏側の止めねじ（M3）および平行ピン（φ2　L4）で固定しています。
付属工具（対辺1.5㎜）で止めねじ（M3）をゆるめて、カストリばねを取りはずします。



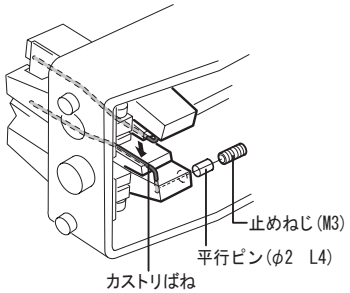
ポイント
止めねじを完全にはずすとカストリばねの装着が困難になります。

4 新しいカストリばねの左右を確認する
カストリばねには、左右があります。
カストリばねの左右は出荷時に明記しています。
取り出すときに左右がわかりずらくなりますので、ご注意ください。

5 新しいカストリばねを取り付ける
ストリップ刃取り付けアームの溝に沿ってカストリばねの曲線部をねじ穴に差し込み、止めねじ（M3）で固定します。



ポイント
右図のようにストリップ刃の裏面に添うよう取り付けてください。



6 カバーを取り付ける

オプション

■フットスイッチFS10H

フットスイッチを使用すると、細い電線や軟らかい電線を確実にストリップすることができます。

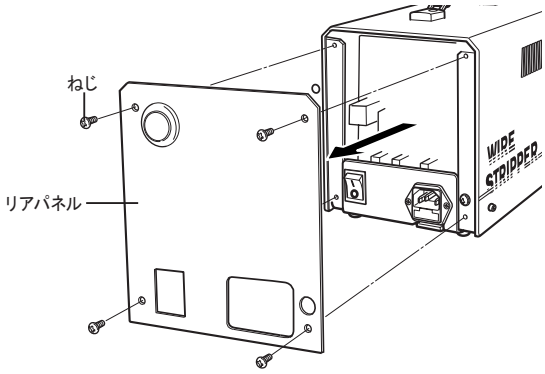
細い電線や軟らかい電線をストリップするときにタッチセンサを使用すると、電線の先端が曲がり、うまくストリップできないことがあります。

お願い
フットスイッチを使用すると、タッチセンサでのストリップができなくなります。

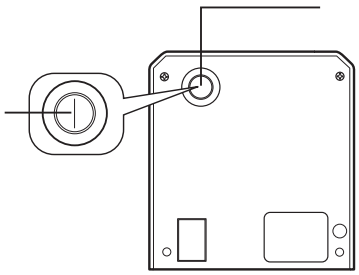
フットスイッチの取り付け

電源プラグを抜き、電源コードをインレットからはずします。

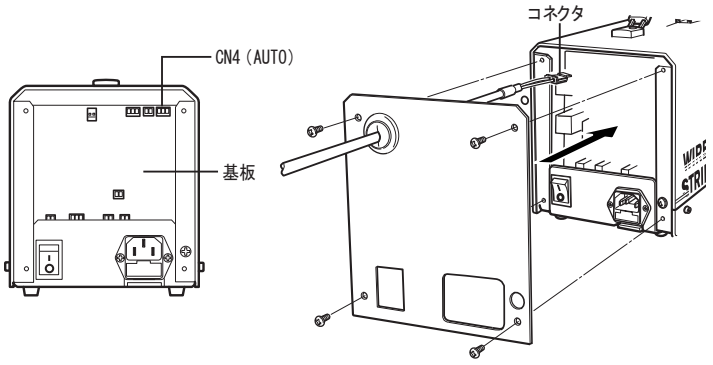
1 リアパネルをはずす
⊕ドライバでリヤパネルのねじ(4本)を取りはずします。



2 膜付きグロメットに切り込みを入れる
膜付きグロメットにカッターでフットスイッチのコネクタが通る大きさ(直径15 mm)の切り込みを入れます。



3 フットスイッチのコネクタを差し込む
- ワイヤーストリッパ内基板のタッチセンサ(CN4、AUTO)コネクタをはずします。
- フットスイッチのコネクタを膜付きグロメットに通し、CN4(AUTO)コネクタに差し込みます。



4 リアパネルを取り付ける

フットスイッチの使い方

1 ケーブル径、ストリップ長、ストリップモード、ケーブルガイド、ストリップ時間を設定する
設定方法は、10～14ページをご覧ください。

2 電源の投入

3 電線を差し込む
電線を電線差し込み口からタッチセンサに届くまで挿入します。

4 フットスイッチを１回踏む

5 電線を引き戻す
ストリップ刃とタッチセンサが元の位置に戻ってくる間に電線を引き戻します。
電線の引き戻しが遅れると、タッチセンサが電線にあたり、ストリップされた芯線が曲がる原因になります。

この取扱説明書の一部または全部を無断で転載、複製することは、禁止されています。
損傷や紛失などにより、取扱説明書が必要なときは、最寄りの販売店に請求してください。
取扱説明書は、製品の改良や仕様変更および取扱説明書の改善のために、予告なしに変更することがあります。
取扱説明書には正確な情報を記載するよう努めていますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの点がありましたら、当社までご連絡ください。

株式会社　造研
〒192-0355　東京都八王子市堀之内2-21-9
TEL:(0426)75-2111　　FAX:(0426)75-2142
URL:http://www.zouken.co.jp

この取扱説明書は、2006年3月現在のものです。
A1210-920-3